

このNGOは誕生2年目の本当に地道なささやかな活動です。末永くつづけていきたいです。

●DIFARとは？

Desarrollo Integrado Familia Ruralの略で

「農村家族を対象とする総合開発」という意味です。

● 何故ボリビアに對するの？

きっかけは 現地活動メンバーが海外青年協力隊員としてボリビアに派遣されたことです。実際ボリビアで活動を始め、日本からの移住者が多く暮らしていて、彼らの貢献が日本人に対する信頼度の高さに睦みついていることを知りました。次代につなぐ活動として、小さな架け橋になれたらと思います。

● ボリビアでの日本人の活動を知りたい

<http://www.fenaboja.com/index.htm>

ボリビア日系協会連合会のHPを是非ご覧ください。高度成長で忘れ去られた日本の原風景がここには残されているようです。

● どんな活動をしているの？

生活向上のための 現地の助成グループからの要請を受けて、次のような活動をしています。

- 野菜の有機栽培と販売
- 鶏、テンジクネズミ、豚などの家畜飼育
- エコサントイレの建設
- 織物の製作、販売

●日本では どんな活動をして支援しているの？

- 織物や民芸品の販売
- 八重山の支援者からのモズク販売
- 寄付金や会費を募る
- 各地での催しに参加

● 寄付金はどこに送ればいいの？

郵便振込みをお願いします。

口座番号：0810-1-96464

口座名：DIFAR

● 織物やもずくの注文 問い合わせは？

DIFAR 事務局 瀧本規久子まで連絡ください

Tel/fax:059-274-0192

e-mail:somaya.takimoto@za.ztv.ne.jp

HP: <http://www.ken-san.net/bolivia/index.html>

D I F A R

ボリビア女性支援プロジェクト

通信 Vol.4

2005年1月



ボリビアより瀧本里子です。2005年新年明けましておめでとうございます。昨年は日本は最後まで災害に見舞われ、大変な年になりましたね。昨日まで何事もなく普通に暮らしていた家族が、生活が一変に消えてしまうというのは本当に、想像が付きませんがそれでも、毎日過去を振り返らず、前を向いて少しずつ進んでいく姿が報道されると遠いボリビアからも「頑張れ！」とエールを送っています。私達の活動も2年目に入り、DIFARを立ち上げた時は協力隊帰国直後でもあり、情熱が先立った感が強かったのですが、協力隊ではなく一住民としての現地での生活、結婚、出産を経て少しは地に足が付いてきたと思います。昨年の9月から現地の友人のアナさんと活動を共にする事になり、出産期間も彼女に任せて心静かに出産を迎える事ができました。いままでやってみてやはり自分が外国人ということもあり「〇〇プロジェクトで来ました」というと、先ず「なんかもらえるのか」という意識が先に立ち、極端に用心深く、疑い深い性格を持っている人たちの心に入って行くのはなかなか難しいと感じています。今後の活動は、それよりも、私もボリビアで一児の母となり、アナさんも家族がある、そんな中でのゆったりとした活動にしていこうかなと考えています。活動の対象になる家族の人たちとも、「プロジェクト」「受益者」といった関係でなく、もっと親身になれる関係を築いてゆきたいと思っています。新しい年が、世界中の幸せと、平和への第一歩になるよう地球の片隅から願いたいと思います。

今年もよろしくおねがいします。

瀧本里子